

# 第一編

## 死亡・障害事例と 事故防止の留意点

## 第一編の利用に当たって

- 1 本編は、平成25年度に独立行政法人日本スポーツ振興センターが「死亡見舞金」「障害見舞金」「供花料」を支給した全事例473件を整理、分類し、統計的に死亡、障害の発生の傾向を示すとともに、発生状況を掲載した。平成25年度に医療費を給付した負傷・疾病（継続給付分を除く）件数については、第二編の掲載とした。
- 2 構成は、「死亡編」「障害編」「供花料編」の3編に分け、それぞれの事例を掲載した。
- 3 「供花料」における支給対象事例とは、学校の管理下における死亡で、損害賠償を受けたこと等により、死亡見舞金が支給されなかった災害事例のことである。
- 4 学校種は、「小学校」「中学校」「高等学校・高等専門学校」「特別支援学校」及び「幼稚園・保育所」に分類した。
- 5 事例は、「各教科等（含保育中）」「特別活動（除学校行事）」「学校行事」「課外指導」「休憩時間」「寄宿舎にあるとき」「通学中（通園中）」での事故に分類した。なお、道徳、自立活動、総合的な学習の時間については編集の都合上、各教科等を含め、また、学校行事は通常であれば、特別活動に含まれるが、特に事例が多いため別立てとした。
- 6 「学校生活における事故防止の留意点」を掲載した。本書が平成25年度における死亡、障害を対象としているところから、この範囲の事例について述べるとともに、学校で日ごろ留意すべき点について、以下の先生方に執筆を依頼した。

### 学校生活における事故防止の留意点

- |                          |               |     |         |
|--------------------------|---------------|-----|---------|
| (1) 小学校編                 | 東京都世田谷区立塚戸小学校 | 校長  | 永山 満義 氏 |
| (2) 中学校編                 | 東京学芸大学        | 教授  | 渡邊 正樹 氏 |
| (3) 高等学校・高等専門学校及び特別支援学校編 | 東京女子体育大学      | 教授  | 戸田 芳雄 氏 |
| (4) 幼稚園・保育所編             | 福岡大学医学部看護学科   | 准教授 | 小柳 康子 氏 |

- 7 事例の内容については、個人情報に触れることがないよう、学校名、個人名、地名等は除いた。なお、欄の記載内容はそれぞれ次のとおりである。

【死亡編・供花料編】

事例番号	被災時学校種学年（歳）・性別	死 因
------	----------------	-----

【障害編】

事例番号	被災時学校種学年（歳）・性別	障害種類別名
------	----------------	--------

（複数の症例の場合は、一番重い症例）

死亡編

# I 学校の管理下の死亡の状況

◇ 学校の管理下の死亡の発生件数（平成25年度 給付対象事例）

表一 場合別の発生件数

○は突然死数で内数

場 合		競技種目	小学校	中学校	高等学校・ 高等専門学校	特別支援学校	幼稚園・ 保育所	総計					
各教科等	体育（保健体育）	水泳		1	①			1					
		サッカー・フットサル			1			1					
		ハンドボール			1			1					
	その他の教科		1	①		高 1	①	2					
保育中							4	③	4				
特別活動(除学校行事)	給食指導		3			小 2			5				
学校行事	運動会・体育祭			1					1				
	競技大会・球技大会	サッカー・フットサル			1	①			1				
	その他集团的宿泊行事		1	①					1				
	その他				1				1				
課外指導	体育的部活動	短距離走		1	①				1				
		サッカー・フットサル		1	①	1			2				
		テニス（含ソフトテニス）		1	①				1				
		野球（含軟式）		3	②	1	①		4				
		バレーボール		1	①				1				
		バスケットボール		2	②	1	①		3				
		ラグビー				1			1				
		卓球		1					1				
		バドミントン				1	①		1				
		球技（その他・アメフト）				1			1				
その他		1						1					
休憩時間	休憩時間中		1	3					4				
	昼食時休憩時間中			1	1	①			2				
	授業終了後の特定時間中			1					1				
寄宿舍にあるとき					3	①			3				
通学中	登校（登園）中			3	2				5				
	下校（降園）中		1	6	①	3	高 1		11				
	通学に準ずるとき			1	①	1			2				
総 計			8	②	27	①	20	⑥	4	①	4	③	63

表二 死因別の発生件数

死因別	学校種別	小学校	中学校	高等学校・ 高等専門学校	特別支援学校			幼稚園・ 保育所	総計
					小	中	高		
突然死	突心臓系	1	7	5			1		14
	突中枢神経系	1	2						3
	突大血管系		2	1				3	6
	小 計	2	11	6	0	0	1	3	23
頭部外傷		2	3	3					8
溺死		1		1			1		3
窒息死（溺死以外）		2	4	1	2			1	10
内臓損傷			6	3					9
熱中症				1				1	1
全身打撲			3	4					7
その他		1		1					2
総 計		8	27	20	2	0	2	4	63

表三 男女別の発生件数

	小学校	中学校	高等学校・ 高等専門学校	特別支援学校			幼稚園・保育所	総計
				小	中	高		
男	4	21	16	2		1	2	46
女	4	6	4			1	2	17
総 計	8	27	20	2	0	2	4	63

# 1 小学校における死亡の事例

## 〔Ⅰ〕各教科等

### (1) その他の教科

25死-1	小5年・女	突中枢神経系
-------	-------	--------

ふらふらと立ち上がり、担任に近づいてきて「気持ちが悪い」と訴えた。歩けない様子だったので、担任がおぶって3階から1階の保健室まで運んだ。保健室で意識混濁状態になった。すぐに、救急車を要請、救急車の中で心肺停止した。病院で緊急手術後、集中治療室で治療を受けていたが、数週間後に死亡した。

## 〔Ⅱ〕特別活動（除学校行事）

### (1) 給食指導

25死-2	小2年・男	窒息死（溺死以外）
-------	-------	-----------

給食でプラムを食べていた本児童は、果肉が少し残っていた種を丸ごと口に入れ、そのまま飲み込んでしまった。すぐに吐き出すように言ったが種は出てこなかった。救急車を要請し、教職員が、ハイムリック法、胸骨圧迫（心臓マッサージ）、AEDの使用等の処置を行った。レスキュー隊でも種が取れず、その後来た救急隊員が吸引器を使って種を取り除いた。しかし、意識が戻らず、病院へ搬送し治療を受けたが同日死亡した。

25死-3	小4年・男	窒息死（溺死以外）
-------	-------	-----------

教室で給食を食べていたとき、のどに詰まらせた。

25死-4	小5年・女	その他
-------	-------	-----

給食の時間に、自分の分（アレルギー除去食）を食べた後、おかわりを希望して、担任からアナフィラキシーショックを起こす原因のチーズが入った「じゃがいもチヂミ」をもらい、チーズが入っていることを知らずに食べてしまった。その時は本児童から体の不良の訴えが無く、誤食に気付かないでいた。約35分後の清掃の時間に「気持ちが悪い」と訴えがあった。顔が紅潮し呼吸困難な状態であった。救急車を要請、エピペンを打ち、胸骨圧迫（心臓マッサージ）・人工呼吸を続けた。AEDを作動させたが処置なしの判定であった。病院に搬送されたが、死亡が確認された。

## 〔Ⅲ〕学校行事

### (1) その他集団宿泊的行事

25死-5	小6年・女	突心臓系
-------	-------	------

スキー旅行を実施した2日目、午後はスノーレクリエーションで、雪中宝探し・雪合戦をした後は、自由遊びとなり、本児童は何人かの友達とソリすべりをして遊んだ。5～6回滑った後、まだ滑ろうとする友達に「疲れたから少し休む」と言って、脇の方へ座って見ていた。何回か滑った後に、友達が本児童の方を見ると、うつ伏せになっており、声をかけに行ったとこ

ろ返答がなく、仰向けにしてみると、目を半開きにして、意識がなかったため、すぐに引率教員に知らせた。救急車を要請し、救急隊が到着するまで胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、蘇生処置を行ったが搬送先の病院で死亡が確認された。

## 〔Ⅳ〕 課外指導

### （１）その他

25死-6

小2年・女

頭部外傷

親子奉仕作業時、2階図書室で本を読んでいた本児童に、母親が掃除するよう声を掛けると窓際の本箱に乗った。その際、同級生に手伝ってくれるようにと依頼し、同級生が本箱に手をかけたとき本児童は後ろによけ、その際バランスを崩して足を滑らせ、約5メートル下の地面に転落し、頭部、胸部等を受傷した。直ちに救急車を要請、意識不明の状態だったので、頭と身体を固定した。しばらくして意識混濁の状態になり、救急車で病院に搬送、治療を続けたが、約1ヵ月後に死亡した。

## 〔Ⅴ〕 休憩時間

### （１）休憩時間中

25死-7

小4年・男

頭部外傷

掃除終了後の休憩時間中、教師の資料が、教室の南側柱に設置されていた扇風機にからんでいるのを発見した他の児童が棚の上に乗って直そうとしていた。本児童が手伝うと言い、棚の上に乗って資料を移動させた時バランスを崩し、2階の窓から1階のコンクリート部分に転落した。その際、頭部を強打した。（担任は、廊下で他の児童の指導をしていた。）すぐに落下場所に駆けつけたが、反応がなかった。救急車で搬送、さらにドクターヘリで、病院に搬送した。治療を受けたが翌日死亡した。

## 〔Ⅵ〕 通学中

### （１）下校中

#### ①徒 歩

25死-8

小6年・男

溺死

午後4時頃、スキー教室終了後、徒歩で友達3人と下校した。友達と別れ、一人で自宅に向かった。自宅に戻らないので警察に連絡し、捜索した。夜に自宅裏の用水路内で発見され、救急車で搬送されたが同日死亡が確認された。

## 2 中学校における死亡の事例

### 〔Ⅰ〕各教科等

#### (1) 体育（保健体育）

##### ①水 泳

25死-9	中2年・男	突心臓系
-------	-------	------

体育の授業中に、プールで5分泳の3分経過した段階で、水中に沈んでいた本生徒を指導していた教員が発見。プールサイドに引き上げて状態を見たところ心音が聞こえず、自発呼吸も弱かった。すぐに心肺蘇生を開始、救急車を要請した。その後病院で治療を受け、数ヵ月後には院内学級での生活に取組めるまで回復したが、体調が急変し死亡した。

### 〔Ⅱ〕学校行事

#### (1) 運動会・体育祭

25死-10	中2年・男	内臓損傷
--------	-------	------

学校の出来事による死亡

### 〔Ⅲ〕課外指導

#### (1) 体育的部活動

##### ①短距離走

25死-11	中2年・男	突中枢神経系
--------	-------	--------

陸上の部活動中、運動場でハードルを跳び越え、くぐり、走るの朝練習をしていたところ、「眼が痛い」と顧問教諭に言いに来て、「耳が」「頭が」と言って倒れた。救急車で搬送後、ICUで入院治療を行っていたが、数日後に死亡した。

##### ②サッカー・フットサル

25死-12	中1年・男	突心臓系
--------	-------	------

夏季休業中、サッカー場での部活動中、試合形式の練習をしていた。ゴール前で守備についていた本生徒の方に飛んできたボールを胸のあたりに当ててゴールから遠ざけた。その後、本生徒は数歩歩き出したところでうつぶせに倒れた。救急車を要請、救急隊員がAEDを施行したが、反応はなかった。救急病院の集中治療を受けたが、約1週間後に死亡した。

##### ③テニス（含ソフトテニス）

25死-13	中2年・男	突大血管系
--------	-------	-------

休日の部活動で、他校で練習試合が行われていた。本生徒は第1試合で勝ったため、次の試合まで待機していた。第2試合の開始後、3番手として出場するため待っている間に、腹部と背部の痛みを訴えてその場にうずくまってしまった。痛み方が普通でなかったため、救急車を要請し、医療センターに搬送したが、数日後に死亡した。

#### ④野球（含軟式）

25死-14	中2年・男	窒息死（溺死以外）
--------	-------	-----------

学校の出来事による死亡

25死-15	中2年・男	突心臓系
--------	-------	------

野球部の練習終了後、クールダウンを兼ねてプールに入ることになった。健康観察、準備体操と水慣れを行ったあと、25m水泳。3分の2程度泳いだところで立ち上がって飛び跳ねる状態になった。自力でプールサイドに行き、もたれかかっていたので顧問が引き上げた。本生徒の状態をみて、直ちに心肺蘇生を施すとともに救急車を要請した。救急隊が到着し、病院へ搬送したが、同日死亡した。

25死-16	中2年・男	突中枢神経系
--------	-------	--------

部活動の前に更衣室で着替え中に、本生徒はからかわれたため、他の部員にヘッドロックをかけた。2分程度かけ続けていたため、別の部員が止めに入った。2人とも顔は紅潮していた。その後、本生徒は更衣室を出て、約15m先の流しの手前の階段でつまづいた。立ち上がって流しに手をかけたが、そのまましゃがみこんだまま、立ち上がれず、嘔吐が始まった。2人が引き離されてから本生徒が倒れるまでの間、本生徒が「気持ち悪い」「フラフラする」「やばい」と言っていたのを数名の部員が聞いていた。救急搬送後、手術が行われ、加療を受けていたが、意識が戻ることなく数十日後に死亡した。

#### ⑤バレーボール

25死-17	中2年・男	突心臓系
--------	-------	------

部活動で、校舎敷地周回コース3kmを走り、集合場所に到着後、部員同士で話しているうちに倒れて意識のない状態になった。呼吸が弱くなり、顔色が紫色に変化したため、養護教諭がAEDを装着し胸骨圧迫、人工呼吸をした。その後、救急車で救急救命センターに搬送し、集中治療室で経過観察していたが、同日死亡した。

#### ⑥バスケットボール

25死-18	中1年・男	突心臓系
--------	-------	------

バスケットボール部の練習中、ランニングシュートを打った後、うずくまって倒れた。意識がなく、顔色が悪くなり、呼吸が停止したため、顧問が胸骨圧迫、人工呼吸をした。救急車で搬送されたが、同日死亡した。

25死-19	中3年・男	突心臓系
--------	-------	------

バスケットボール部の朝練習が行われていた。運動場を10周（200m×10）走り、次の体幹運動をするために渡り廊下まで友人と話しながら移動した。部員が集まり、体幹運動を始めようとひざまずいた時、本生徒が急に前に倒れこんだ。顔色不良、意識なく、異常呼吸をしていた。顧問がすぐにAEDを装着、電気ショックを1回行ったが、意識、脈ともに戻らなかった。救急車で病院に緊急搬送されたが、同日死亡した。

## ⑦卓球

25死-20	中2年・男	頭部外傷
--------	-------	------

学校の出来事による死亡

## 〔Ⅳ〕休憩時間

### （１）休憩時間中

25死-21	中1年・男	窒息死（溺死以外）
--------	-------	-----------

学校の出来事による死亡

25死-22	中3年・男	頭部外傷
--------	-------	------

学校の出来事による死亡

25死-23	中3年・男	窒息死（溺死以外）
--------	-------	-----------

学校の出来事による死亡

### （２）昼食時休憩時間中

25死-24	中1年・女	内臓損傷
--------	-------	------

学校の出来事による死亡

### （３）授業終了後の特定時間中

25死-25	中2年・男	内臓損傷
--------	-------	------

学校の出来事による死亡

## 〔Ⅴ〕通学中

### （１）登校中

#### ①徒 歩

25死-26	中1年・男	内臓損傷
--------	-------	------

自宅から登校する際、マンション7階から転落し死亡した。

25死-27	中1年・女	内臓損傷
--------	-------	------

本生徒は登校する途中に自宅のある団地の6階に上がり、転落し死亡した。

25死-28	中2年・男	内臓損傷
--------	-------	------

登校するために、自宅を出た直後にマンション10階の廊下から転落し死亡した。

### （２）下校中

#### ①徒 歩

25死-29	中2年・男	全身打撲
--------	-------	------

友人4人と下校中、「魚を捕りに行こう」と川に向かった。鉄橋の防護柵のない業務用通路から、本生徒と友人2人が侵入し、鉄橋を渡り対岸に向かっていたところ、普通電車にはねら

れ死亡した。

25死-30	中2年・女	頭部外傷
--------	-------	------

友人と徒歩での下校中、民家の間の路地を歩いていたら、友人と追いつきこになった。友人の逃げろと言う声に反応して走った。路地を抜けるとすぐ前に、柵のない線路があり、路地を走り抜けた瞬間列車と衝突し、死亡した。

## ② 鉄道

25死-31	中前2年・男	突心臓系
--------	--------	------

下校中に、学校の最寄り駅の電車の車内で出発を待っていたところ、突如うめき声をあげて倒れた。救急搬送されたが、同日死亡した。

25死-32	中3年・女	全身打撲
--------	-------	------

学校から帰宅途中に、駅のホームで電車と接触し、死亡した。

25死-33	中3年・女	全身打撲
--------	-------	------

下校時、自宅の最寄り駅のホームから転落し、電車にはねられ死亡した。

## ③ 自転車

25死-34	中3年・女	窒息死（溺死以外）
--------	-------	-----------

本生徒は、授業が終わり学校を出た。自宅玄関前で肩掛けかばんのひもで首を吊っていたところを発見され、同日死亡した。

### （3）通学に準ずるとき

#### ① 徒歩

25死-35	中3年・男	突大血管系
--------	-------	-------

芸術鑑賞教室に参加するため、劇場に向かっていた。乗り換え駅で友達と待ち合わせをしていて改札を出たところ、急に容体が悪くなり、腹痛を訴え柱にもたれかかり、その場に倒れてしまった。通行人が駅員に連絡し救急車を要請した。救急隊到着時、意識がなくショック状態であった。救命処置を受けたが、同日死亡した。

### 3 高等学校・高等専門学校における死亡の事例

#### 〔Ⅰ〕各教科等

##### (1) 体育（保健体育）

##### ① サッカー・フットサル

25死-36	高3年・男	窒息死（溺死以外）
--------	-------	-----------

4限目の体育の授業中サッカーをしていた。本生徒がゴールポストにぶら下がったところ、ゴールポストが倒れ込んできて、顎と首が挟まれた状態で下敷きになった。救急処置を行い、病院に搬送するが、意識不明のまま、数日後に死亡した。

##### ② ハンドボール

25死-37	高1年・男	内臓損傷
--------	-------	------

体育の授業でハンドボールの実技テストをしていたとき、テストを終えた生徒数人はグラウンドの隅で見学していた。塀に囲まれた吹き抜け部分の落下防止ネットにビニール袋が落ちているのを見つけた本生徒は自ら塀を越えて拾い、ネットの上で寝転んだり跳ねたりしていた後グラウンドに戻った。その後、「一段高い所から飛んだら凄い」との話を受けて、一段高い所に乗ってネットに降りることを周囲に伝え、ネットに飛び降り落下してしまった。すぐに救急車を要請、搬送するが病院で死亡が確認された。

#### 〔Ⅱ〕学校行事

##### (1) 競技大会・球技大会

##### ① サッカー・フットサル

25死-38	高2年・男	突心臓系
--------	-------	------

運動場でサッカーの試合をしていたとき、前方へ長いパスを出され、全力で走って追いかけた。しかし、相手にボールを取られたため、守備の位置へゆっくり走りながら戻っていて突然倒れた。心肺停止状態で学校で救急処置を実施し、救急隊員に引継ぎ、救急車内で心拍が再開、一時は自発呼吸するまでになった。しかし、意識が戻ることなく、約1ヵ月後に死亡した。

##### (2) その他

25死-39	高3年・女	頭部外傷
--------	-------	------

夏季休業期間中、学校で行う就職面接指導を受けるため、母親と登校した。予め面接指導会場として指示していた食堂（校舎1階）に来ず、教室（校舎5階）横の廊下窓から飛び降り、まもなく死亡した。

## 〔Ⅲ〕 課外指導

### (1) 体育的部活動

#### ① サッカー・フットサル

25死-40	高1年・男	溺死
--------	-------	----

部活の遠征時、試合に出ていなかった本生徒がゴール裏の空きスペースでボールを蹴っていた際、ボールが防球ネットを越えて、すぐ横を流れる農業用水路の中に入ってしまった。間もなく試合を観戦していた保護者が「生徒が溺れていますよ」と声をかけた。監督はすぐに駆けつけたが、その時にはすでに姿が見えなかった。監督と生徒で探し回り、救急隊到着後も下流方面を中心に捜索した発見されず、夜になって用水路のトンネル部分の川底近くで発見された。

#### ② 野球（含軟式）

25死-41	高1年・男	突心臓系
--------	-------	------

野球の部活動中、運動場で持久的トレーニングを終えジョックで戻りミーティングを行っていたとき、顔色が悪くふらふらしていた。ベンチに座らせようとしたがグラウンドに倒れた。過呼吸のような状態で、両足けいれんの様子を示し、眼球は上を向いていた。すぐに脈、呼吸があることを確認、AEDでの電気ショックを続けながら救急車の到着を待つ。病院に搬送後、治療を受けたが同日死亡した。

#### ③ バスケットボール

25死-42	高1年・男	突心臓系
--------	-------	------

バスケットコート内で、準備運動の3往復ダッシュを3人一組で行っていたとき、8本目で突然倒れ意識不明、呼吸停止に陥った。救急車の要請とAED使用、人工呼吸、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を実施した。病院で緊急処置を行ったが、蘇生後脳症となり、数ヵ月後に死亡した。

#### ④ ラグビー

25死-43	高2年・男	頭部外傷
--------	-------	------

ラグビー部の合宿中、他校との練習試合で、本生徒はボールを持って走っていた際、相手選手のタックルを受け、左に回転しながら背中から前方に倒れた。その時に、肩、後頭部の順にグラウンドに勢いよく打ちつけ、頭部を打撲した。負傷後、嘔吐し、ドクターヘリで救急搬送され、手術及び集中治療を受けたが、数十日後に死亡した。

#### ⑤ バドミントン

25死-44	高3年・男	突心臓系
--------	-------	------

下級生の指導のため半年振りに部活動に参加した。準備運動及びコートで羽根打ちをした後に基礎打ち練習を約20分間行った。終了後顧問が声をかけると、「疲れた」と笑顔で答え、その後10分弱ほど同級生のスマッシュをレシーブした。次の練習を始めて約1分後に、足がふらつき、後ろ向きに転倒した。顧問が声をかけると意識がなかったが、一旦意識が回復し、自ら上体を起こした。しかし、再び意識がなくなったため、救急車を要請し、直ちに病院に搬送した。その後、意識が戻らないまま、数週間後に死亡した。

## ⑥球技（その他アメリカンフットボール）

25死-45	高3年・男	熱中症
--------	-------	-----

他高校にて練習試合をしていた。本生徒は、初めから出場。9時30分キックオフ。10時20分ハーフタイム。10時30分後半試合開始。11時23分、第4クォーターの途中で、急に倒れた。担架で校舎の日陰に運ぶ。この時は、比較的、落ち着いていたので、脇の下に氷を入れ、部員がうちわであおいでいた。その後、突然歩きだし嘔吐した。11時36分、救急車を要請する。病院では、眠剤で寝かせて点滴投与し、経過観察をしていた。当日の夜は、体温が38度まで下がったが、容態が急変し2日後に死亡した。

## 〔Ⅳ〕休憩時間

### （1）昼食時休憩時間中

25死-46	高3年・女	突心臓系
--------	-------	------

昼休憩時間となり、本生徒は自席に座りながら友人と談笑していた。13時15分頃、友人が本生徒に他の生徒の所在を尋ねたところ、立ち上がり「いないよ」と答え、そのまま突然床に倒れた。すぐに担架で保健室に運び、救急車を要請、胸骨圧迫（心臓マッサージ）とAEDを実施した。救急隊の大型AEDで実施するも蘇生せず、心肺停止のまま医療機関で薬剤投与後に蘇生した。集中治療室で加療を受けていたが、約3週間後に死亡した。

## 〔Ⅴ〕寄宿舎にあるとき

25死-47	高1年・男	突大血管系
--------	-------	-------

23時頃上級生が、研修センターの廊下を歩いていたところ焼肉の匂いがしたので、電気の付いている部屋に行ってみると1年生4人が禁止されている焼肉をしていた。消灯時間も過ぎていたので「止めろ」と注意をし部屋を去ったが、再度部屋を訪れたときに本生徒が隠れていたことに腹を立て、廊下に連れ出し背中等を数回殴った。その後苦しみだしたので、寮監に連絡をした。寮監はすぐに救急車を手配し、近くの医院の医師に連絡し胸骨圧迫をした。救急車で病院へ搬送したが、死亡した。

25死-48	高2年・男	その他
--------	-------	-----

夕食前の自由時間、職員室より敷地内にある生徒寮から黒煙が噴出しているのを発見した。職員全員が消火、生徒の避難誘導に寮へ駆けつけた。119番通報をし寮前にいた生徒に「他に誰がいるか」と確認したところ、「いない」との返事であった。職員2名が寮内に入り、消火、生徒確認にあたるが、居室のある2階は熱風で近づけず退去を余儀なくされた。その際にも、寮内で叫び声やうめき声、生活反応はなかった。避難場所で18時頃、点呼をしたところ、生徒1名の確認が取れなかった。鎮火後、警察による現場検証で、遺体が発見された。

25死-49	高専3年・男	全身打撲
--------	--------	------

午前6時頃、巡回中の警備員が学生寮の駐車場（北側）で倒れている本生徒を発見した。20m強の高さから転落したと思われる。既に息を引き取った状態であった。

## 〔Ⅵ〕通学中

## (1) 登校中

## ① 鉄道

25死-50	高2年・男	内臓損傷
--------	-------	------

本生徒は、電車内で生徒Aと言い争いになった。生徒Aが本生徒を殴ろうとしたので生徒Bが抑えたが、生徒Aは両手でつり革につかまり反動をつけて、本生徒の腹部を右膝で蹴り上げた。約30秒後に呼吸が荒くなった。異変に気が付きすぐに車掌を呼びに行ったが、心肺停止状態であったので、駅員が応急処置を施した。救急車で病院に搬送した。すぐに、手術が行われたが、2日後死亡した。

## ② 原動機付自転車

25死-51	高2年・女	頭部外傷
--------	-------	------

登校のために原動機付自転車で走行している途中、左路肩に駐車していた大型運搬車の右後部に追突した。片側1車線のゆるやかな右カーブで見通しはよい。通りかかった人が119番通報した。病院で加療を受けるが、約2週間後に死亡した。

## (2) 下校中

## ① 鉄道

25死-52	高3年・女	全身打撲
--------	-------	------

半年前より、病院において入院・加療していた。治療の一環として病院から学校に通う生活が行われ、週1～2回程度登校した。事故当日は中間テストの初日であった。本生徒は、テストを受けたあと昼食を挟み友人と歓談して時間を過ごしたが、特に変わった様子はなかった。その後友人と学校を出て徒歩で駅に向い別れた後、別の駅で待つ母親に電話をした。フラフラと駅階段を降り、ホームの端を歩き、特急電車と接触し死亡した。

## ② 自転車

25死-53	高3年・男	内臓損傷
--------	-------	------

下校途中、畑の中の鉄塔から転落し、死亡した。

## ③ 自動車

25死-54	高定4年・男	全身打撲
--------	--------	------

授業終了後、車で自宅へ帰宅途中、国道の電柱に衝突し、車ごと田んぼへ落ち、救急車で搬送されたが死亡した。

## (3) 通学に準ずるとき

## ① 鉄道

25死-55	高2年・男	全身打撲
--------	-------	------

部公式戦試合の帰宅時、駅のホームから線路に転落し、特急電車にはねられ死亡した。

## 4 特別支援学校における死亡の事例

### 〔Ⅰ〕各教科等

#### (1) その他の教科

25死-56 特高1年・男 突心臓系

「朝の運動」に参加するために、2階の教室からグラウンドに出る。本生徒は遅れ気味であったため小走りで集団に合流し、ラジオ体操の終了間際から参加した。その後、グラウンドを1周弱（1周約100mのところ80m～90m）歩いたところで、本生徒の顔色不良に気づいた教師の指示で集団から離れ、校舎前の日陰で静養し、首筋を冷やす処置を行ったが、その後、けいれん発作を起こし心肺停止状態となった。AEDを2回実施後、自発呼吸が戻ったが、再度発作が見られた。救急車で医療機関に搬送後も引き続き心肺蘇生を行ったが、同日死亡した。

### 〔Ⅱ〕特別活動（除学校行事）

#### (1) 給食指導

25死-57 特小3年・男 窒息死（溺死以外）

本児童は既往症があり、担任の介助により給食を摂っていた。当日の献立は五目中華飯、蒸しシューマイ、にらともやしのナムル、きのこスープ、オレンジであった。本児童の嚥下・咀嚼機能の実態に合わせて、小刻み食（挽肉を少しつぶした程度）の形態で提供されており、オレンジを6分の1にカットしたものが出され、担任は皮をむき、指で押しつぶした状態で食べさせていた。食事開始から30分経過した頃、全食事量の3分の1を摂取した後に、硬直の様子がみられた。同時に口元のけいれん等もあり、チアノーゼもみられた。即座に食事テーブルを外し、抱きかかえ背中をタッピングした。救急車を要請、病院で入院加療受けていたが、約1年後に死亡した。

25死-58 特小3年・男 窒息死（溺死以外）

給食中に、本児童は、職員が小さくちぎってお盆の上に置いたコッペパンを、自分で取って食べていた。そのときに突然むせはじめたため、職員はパンが喉に詰まったのだと判断した。すぐに背中を叩き、吐き出させようとした。同時に救急車を要請するとともに応急処置を行った。救急隊員によって詰まっていたパンは取り出され、病院に搬送、集中治療室で治療が続けられたが、数日後に死亡した。

## 〔Ⅲ〕 通学中

### (1) 下校中

#### ① 自転車

25死-59

特高3年・女

溺死

自転車で下校中、途中で雨が降り出したため、雨宿りをしながらカッパを着た。その後、雨あしが強まってきたため、最短距離を通ろうとして、通学路に沿った川側の道を通り、増水した川へ転落したと推定される。

## 5 幼稚園・保育所における死亡の事例

### 〔I〕保育中

25死-60	保0歳・女	突大血管系
--------	-------	-------

午睡前に37.4℃の熱があった。13：44に入眠する。入眠時の体勢はうつ伏せ寝で、顔は右頬を下にした状態で眠った。14：00頃から午睡チェックをし、息をしていないことを発見した。すぐに軌道を確認し、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を繰り返した。AEDを使おうとした時救急隊が到着、救急隊員による処置が始まり、医療機関で集中治療が行われた。その後も意識は回復せず、約2ヵ月後に死亡した。

25死-61	保1歳・男	突大血管系
--------	-------	-------

午睡入眠する。うつ伏せではあるが顔は横向きになって口を開けて寝ていた。うつ伏せで顔を枕にして伏せていたので、左頬を下にし横向きにかえた。口は開けていたが普段から口を開けて寝るので特に気にしなかった。顔色が悪いのに気づき、声をかけたり抱きかかえるが反応がなかった。心肺蘇生、119番通報、AEDを装着するも、判定の結果電気ショックは行わなかった。救急車でドクターヘリに搬送し、医療機関に向かった。心肺蘇生に反応がなく同日死亡が確認された。

25死-62	保2歳・女	突大血管系
--------	-------	-------

昼食後の午睡中に本児の唇が青白くなっているのを発見した。気道を確認、人工呼吸、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を施行した。救急隊員によるAEDによる処置と心肺蘇生を行い、病院に搬送したが蘇生することなく死亡が確認された。

25死-63	幼4歳・男	窒息死（溺死以外）
--------	-------	-----------

準備運動後、シャワーによる水慣れをし足よりゆっくり入水、洗剤の空き容器を利用した水鉄砲で水遊びをしている状況を担任が目視で確認した。数分後、プールにうつ伏せで浮かんでいる状態で発見された。すぐに人工呼吸、胸骨圧迫（心臓マッサージ）、AEDによる処置を行った。病院に搬送されたが同日死亡した。